

令和元年度苫小牧市統一学力検査の結果について
記

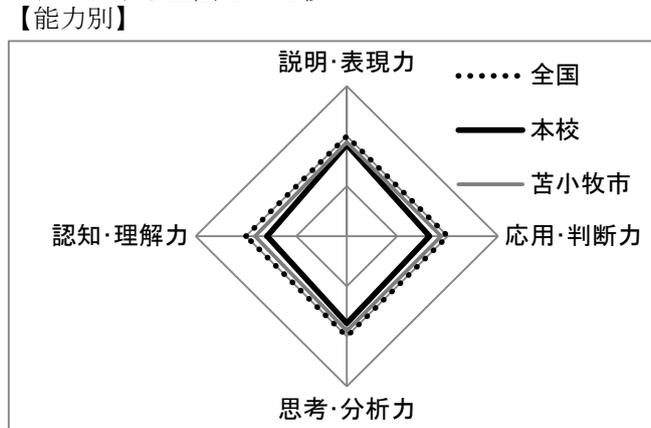
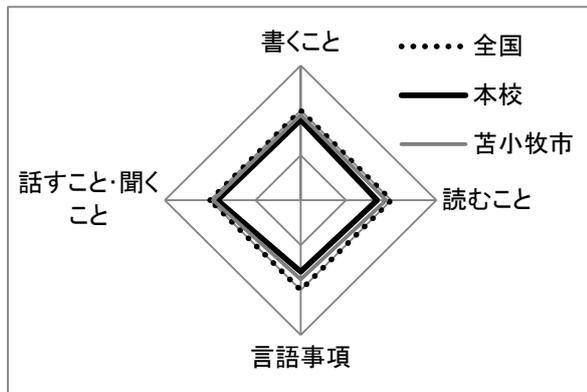
1 検査の概要

- (1) 実施日
令和元年4月11日(木)
- (2) 調査対象
市内小学校 第6学年
- (3) 検査内容等
 - ① 国語科及び算数科の2教科の学力検査を実施(出題範囲は前学年の学習内容)
 - ② 全国学力調査(集団準拠評価)を実施

2 本校の結果と考察

(1) 国語科

① 領域別(※2)及び能力別(※3)の偏差値SS(※1)における全国との比較
【領域別】



② 考察

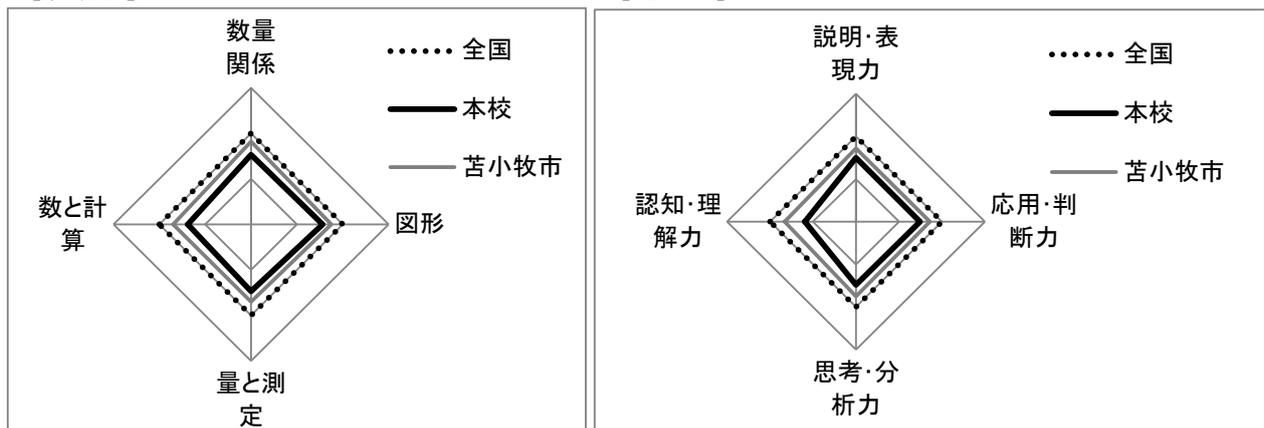
- ・偏差値平均は全国値より低い。
- ・領域別は、全国値に比べて、「話すこと・聞くこと」は同等で、「言語事項」「読むこと」「書くこと」は下回っている。
- ・能力別は、全国値に比べて、「説明・表現力」は同等で、「思考・分析力」「応用・判断力」「認知・理解力」は下回っている。

③ 今後の取り組み

- ・朝学習や宿題、他教科や日常生活の中で漢字を使って書く活動を取り入れたり、忘れてしまったら辞書や教科書で調べる習慣を付けさせます。
- ・日常の授業の中で、自分の考えを文章に表したり、相手を意識して考えが伝わるような文章を書く活動を取り入れる。そのためにも、日頃から自分の考えをもち、それを整理して書く活動を行います。
- ・今後も授業の工夫、改善に取り組み、児童の更なる学力向上を目指します。

(2) 算数科

① 領域別 (※2) 及び能力別 (※3) の偏差値 S S (※1) における全国との比較



② 考 察

- ・ 偏差値平均は全国値より低い。
- ・ 全国平均に比べ、領域別・能力別ともに全ての項目で下回っている。

③ 今後の取り組み

- ・ 日常の授業では習熟度別指導を中心に、個に応じたより細やかな指導を行っていきます。
- ・ 特に分数と小数の関係や分数倍や約分について復習を繰り返して確かな力を付けさせます。
- ・ 「なぜその式になるのか」「なぜその答えになるのか」を説明する力を大切にします。
- ・ 今後も授業の工夫、改善に取り組み、児童の更なる学力向上を目指します。

※1 【国語】学習指導要領が示す学習内容のまとめ（話すこと・聞くこと・言語事項・読むこと・書くこと）に基づいた学力
【算数】学習指導要領が示す学習内容のまとめ（数と計算・量と測定・図形・数量関係）に基づいた学力

※2 目標標準評価における「観点」に対応する視点から設定した学力

- 認知理解力：児童・生徒がもっている知識（情報）量とその情報に基づいて単純に判断する力や処理する能力
- 思考分析力：課題に応じて知識を関連付けながら推論して判断する基本的な力
- 応用判断力：「思考分析力」を更に発展させ、より多くの情報や条件に基づいて、総合的に推論・判断し、問題解決する力
- 説明表現力：上記の3つの能力によって導いた結論や考えを第三者に正確に、あるいは分かりやすく説明する力

※3 全国平均を50として、全体を比較し、どの水準にあるかを示す。